

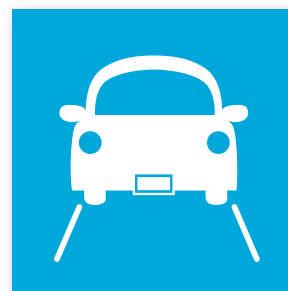
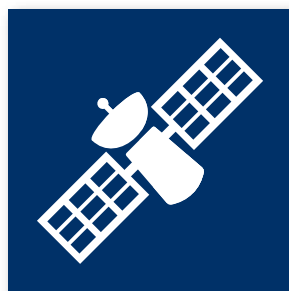
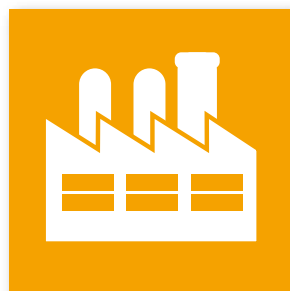
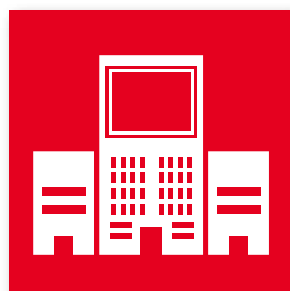
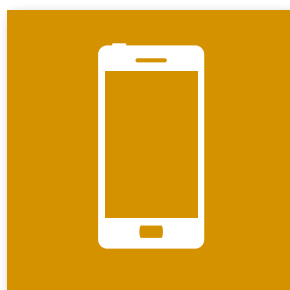
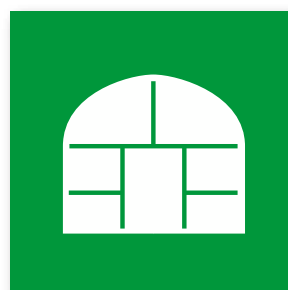
IT can create it.

KEYWARE

CSR REPORT

キーウェアグループ CSR報告書

2017





ICTを活用し お客様の夢・理想の実現、 持続可能な社会の実現を 目指します

代表取締役社長

三田 昌 三

■キーウェアグループのCSR

キーウェアグループは、社会的役割として「創造性に富んだ情報技術によってお客様の要求を超えたソリューションを提供し、お客様の夢・理想を実現させ、豊かな社会の発展に貢献する」ことを掲げています。安全・安心かつ安定した最適な製品・サービスを提供すること、事業を通じて持続可能な社会の実現を目指すことが当社の社会的責任であり、CSRの基本的な考え方です。

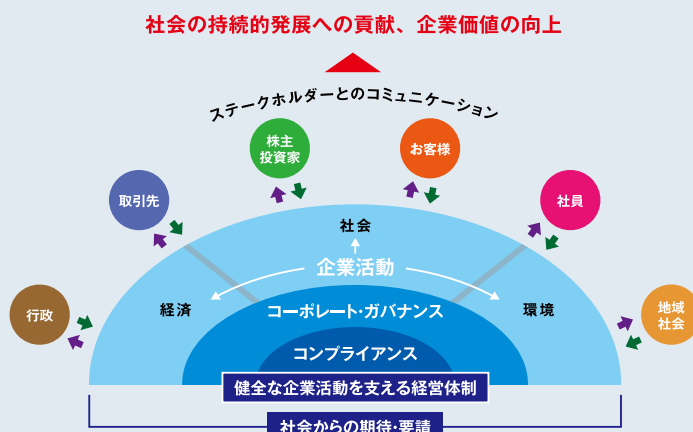
お客様や社会のニーズに応えるITソリューション

サービスを提供し、企業として成長していくためには、さまざまなステークホルダーの方々と積極的にコミュニケーションを図りながら、経営の健全性・透明性を保ち、誠実な事業活動を推進していくことが重要だと考えています。このような社会的役割や社会貢献のあり方を社員一人ひとりが正しく理解し、実践するためにCSR方針として、当社の考え方を明確にしています。

特に、昨今、社会問題になっている働き方改革と、社会課題である農業や介護・医療といった分野での取り組みを進めています。

CSRの考え方

キーウェアグループは、社会からの信頼や期待に応えていくために、お客様、株主、社員、取引先、地域社会をはじめとするあらゆるステークホルダーの方々と積極的にコミュニケーションを図りながら事業活動を行うことにより、社会の持続的発展への貢献を目指しています。



■取り組みと成果

IT企業にとって最大の経営資源は「人」です。お客様に最適な製品・サービスを提供し、豊かな社会の実現に寄与するためには社員が心身ともに健康で、公私ともに充実した生活を送ることが大切だと考え、「健康経営」と「ワーク・ライフ・バランスの実現」を推進しています。時間外勤務は2014年度から21.4%削減、有給休暇取得は2015年度から11.6%増加と成果が出ています。

また、昨年は、八幡山本社の喫煙室の縮小やコミュニケーションスペースの設置等の施設の改善を図るとともに、社員の家族を巻き込んだイベントを実施

しました。数年来の恒例となっている富士山清掃活動に加え、社員の家族を会社に招くイベント「キーウェア・ファミリーデー」を開催いたしました。「キーウェア・ファミリーデー」は、会社・社員・家族の相互理解を深め、より働きやすい、社員と家族を大切にす職場の雰囲気づくりを行うとともに、ワーク・ライフ・バランスの推進を図ることを目的としています。

当社は、会社設立以来50年にわたり、官公庁、通信、金融、医療、流通、製造等の多様な分野において社会インフラを支える情報システムの構築に携わっています。近年では、その中で得られた技術やノウハウを活用し、社会課題の解決への取り組みを進めています。

企業理念

事業領域	情報技術に関する全てを事業領域とします。
企業風土	個人の個性と能力を発揮することに価値を置きます。
社会的役割	創造性に富んだ情報技術によってお客様の要求を超えたソリューションを提供し、お客様の夢・理想を実現させ、豊かな社会の発展に貢献します。
企業スローガン	IT can create it. クリエイティブな発想で、ITの持つ無限の可能性を現実のものとしします。

キーウェアグループの社員行動規範

ナレッジを磨け 失敗を恐れるな	常に自己研鑽にはげみ、何よりも経験と知識が重要であると心得よ 挑戦しなければ新しいものは生まれない。沈黙している事より挑戦した結果失敗してもその方が価値がある
常に相手の要求を超えろ	相手の要求に応えるだけでは、相手は感動しない。 常に相手の要求を上回る成果を示し、相手を感動させよ、そこからの会社の、ひいては個人の評価が高まる
国際的な視野を忘れるな	世界は常に変化している、昨日の正解が今日の正解とは限らない、常に新しい情報に目を向け、世界を意識し続ける
公明正大に行動せよ	公明正大な行動が個人を輝かせ、会社の評価を高めると心得よ

トップメッセージ

農業分野では、就農者の高齢化が課題となっていますが、熟練農業者の技能の可視化と技能継承の支援及び、強い産地の仕組みづくりを支援するクラウドサービス「OGAL（オーガル）」の提供を行っています。東日本大震災で被災した地域への復興のお手伝いとして、宮城県亘理町のいちご農家へ「OGAL（オーガル）」導入を行った関係から、今年春に亘理町がご支援いただいた皆様に元気な姿を見せたいということで、そのためのイベントの提案から開催までを当社が中心となり進めさせていただきました。

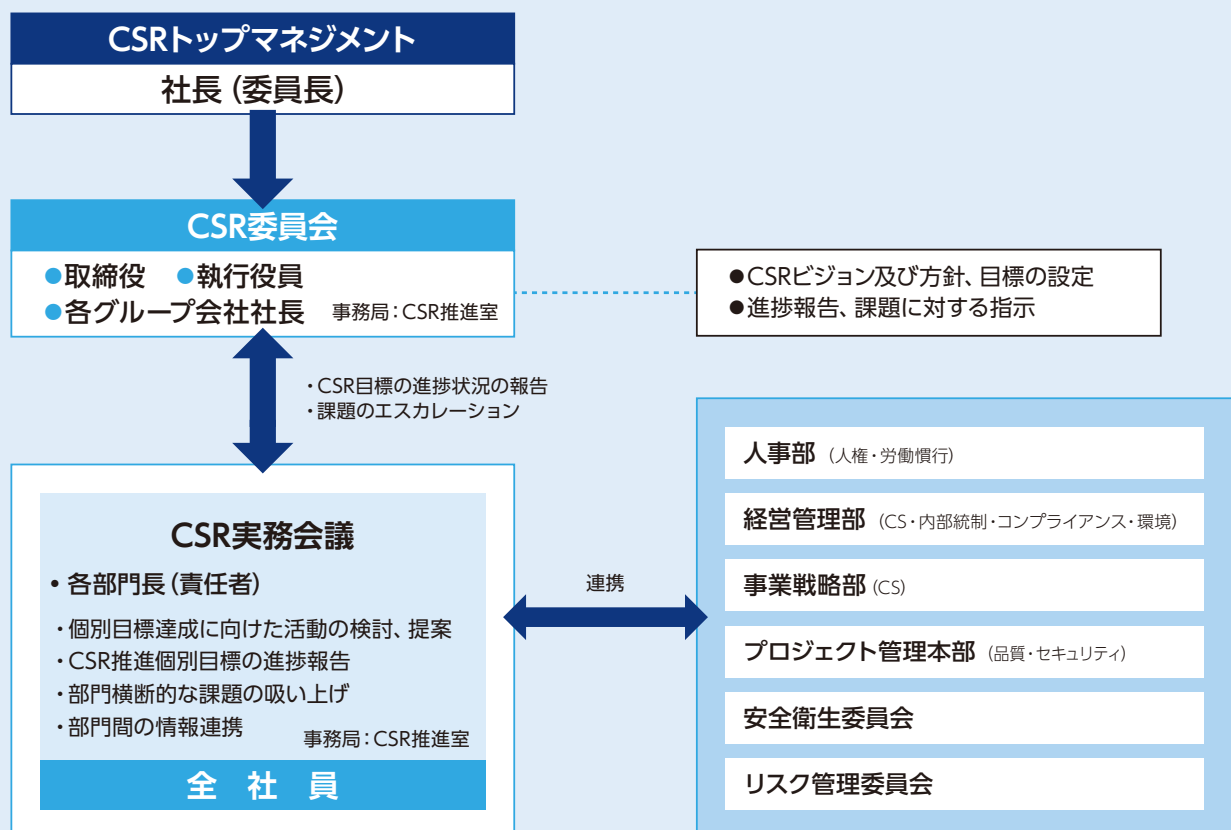
医療分野では、政府主導で行っているPHR（Personal Health Records）基盤の構築に参加しています。PHR基盤とは、小児期からの連続した生涯データを一元管理し、疾病や生活習慣病の因果関

係の解明や、各種診療支援や健康疾病予防サービスを創出するためのものです。当社は、周産期医療に関係していたことから乳幼児健診に関わる部門に携わっています。

介護分野では、人材不足を補うため介護の省力化をITで行う取り組みが進められています。体温や血圧等のバイタルデータを対象の測定機器で計測後、計測データを「Care Palette」に自動送信する機能に当社の「LifeRoute-CP」が使われています。自動送信することで、介護現場での転記ミスの低減や入力作業の効率化を実現します。

（「Cara Palette」は、NDソフトウェア株式会社様の介護事業者向けソフトウェアです。）

CSR推進体制



■信頼され、成長を期待される企業へ

今日、ICTの利活用は教育、農業、暮らし等幅広い分野に広がっており、社会におけるさまざまな課題に対応していく上で、もはや必要不可欠な存在となっています。当社の企業スローガン「IT can create it.」に掲げたクリエイティブな発想で、ITの持つ無限の可能性にチャレンジし、新たな価値を創造し、広く社会

に提供してまいります。品質のよい製品・サービスを提供することはもとより、お客様に提供するための過程も重要です。全過程においてコンプライアンスを徹底し、確実なプロジェクト管理を行うことを心がけ、常に最先端技術の探求と普及に努め、ステークホルダーの皆様にご信頼され、成長を期待される企業となるべくさらなる努力を重ねてまいります。

CSR方針

キーウェアグループは、社会からの信頼や期待に応えていくために、お客様、株主、社員、取引先、地域社会をはじめとするあらゆるステークホルダーの方々と積極的にコミュニケーションを図りながら持続可能な社会の実現を目指します。

キーウェアグループは、**7つの重点領域**においてCSR活動に取り組めます。

1 組織統治

我々は経営の健全性・透明性を保ちながら、継続的に企業価値を向上させていくために、経営の効率化・意思決定の迅速化を図りながら適切なコーポレート・ガバナンスの構築・維持に取り組めます。

2 人権の尊重

- ・我々は、あらゆる企業活動の場面において、人々の人権を尊重し差別のない職場環境を目指すとともに強制労働を認めません。
- ・従業員一人ひとりの個性や異なる発想・価値を受け入れ、多様な人材が能力を十分に発揮し成長できる企業を目指します。

3 労働慣行

我々は、情報サービス産業の最大の経営資源は人材であることを認識し、人材の育成と高度化、適正な評価と魅力ある処遇、ワーク・ライフ・バランスなどを実現し、社員一人ひとりが将来を託し夢をかなえられる環境を目指します。

4 環境

我々は地球環境問題を社会の共通課題と捉え、環境負荷の低減を目指し、持続可能な社会の実現に寄与します。

5 公正な事業慣行

我々は、法令及び定款の遵守に限らず、社会規範や倫理、道徳など基本的な行動規範の遵守を徹底し、公明正大な事業活動を推進します。

6 消費者に関する課題

我々は、品質・情報セキュリティ・個人情報保護・環境についてのマネジメントシステムを運用し、安全・安心かつ安定した製品・サービスを提供します。

7 コミュニティへの参画及び発展

企業市民として社会と共生し、次世代人材の育成、地域社会・国際社会への協力、地球環境保護に寄与します。

暮らしの中の キーウェア



私たちは、情報システム・サービスを通じて
豊かで便利な社会の発展を支えています。

01 空港で



航空関連システム

航空分野で効率的かつ安全な航行を実現するために高い信頼性を必要とするシステムの構築に携わっています。



02 工場で



ERPソリューション

製造・プロセスマネジメント・サービス業／商社のお客様を中心に多くの基幹系業務システムの導入実績を有しています。お客様の事業に最適なERPパッケージを活用し、導入提案から構築・運用に至るまで、一貫したサービスを提供しています。



03 流通で



商社向け在庫管理・ 入出庫管理システム

商社向け在庫管理や入出庫管理システムの構築に携わっています。



04 高速道路で



交通情報ソリューション

各種交通情報（渋滞、信号機制御、感知器情報等）の蓄積、表示板への渋滞情報や位置情報等の表示に関するソリューションを提供しています。



05 街中で



野球・ゴルフ・大相撲などの スポーツ情報のニュース配信システム

作成側と取り込み側両方の技術を有し、配信社および新聞社など複数の事例を手がけています。



06 固定電話で、携帯電話で



一般電話（NTT）、携帯電話の通信情報、 パケット通信情報、顧客管理、料金管理など

20年以上にわたってネットワーク事業者の顧客料金システム開発に携わっています。通信料金を計算して各センターに設置されている料金明細センターへ転送するシステムの開発、保守・運用を行っています。

07 病院で



オーダーリングシステム、電子カルテ、臨床検査システム、 院内感染監視システム

病院や検査センターにおける各種医療情報システムのコンサルティングから導入・保守・運用までの一貫したサービスを提供しています。



08 銀行で



金融ソリューション

金融システム構築における各種設計技術と各種業務設計ノウハウの提供をベースに、勘定系業務・情報系業務のシステム構築に対し、上流から下流工程までの一貫したソリューションを提供しています。





安心



安全



便利

15 農場で



ハウス栽培向け農業支援サービス

ハウス栽培における環境や農作業の情報をセンサーネットワークと連携したクラウドシステムでモニタリングすることで栽培技法の可視化や農作業の省力化を支援するサービスを提供しています。



14 宇宙で



衛星追跡管制・ 衛星関連データ処理宇宙ステーション運用管制

地上側での衛星運用に関わるソリューションを提供しています。日本の宇宙開発の黎明期から国家プロジェクトに参画し、多くの実績を有しています。

13 オフィスで



経営とITの統合コンサルティング

ITの実装を真に価値あるものとするために、経営戦略や中期経営計画の策定、情報化企画からITの実装・運営までをシームレスかつ全面的に支援しています。

12 ホームで



駅のホーム用車両接近状況表示、 行先案内表示、緊急案内表示

鉄道のホームやコンコース用の案内表示等の旅客案内ソリューションを提供しています。



09 自宅で



ショッピングサイト

商品販売サイトのシステム開発に携わっています。



10 モバイルで



スマートフォン向けアプリ

スマートフォンを活用して日々の体重や血圧等の数値データを登録・管理できる健康管理サポートサービス「健康からダコンパスLifeRoute (ライフルート)」を提供しています。食事情報や日々の数値データを振り返ることにより、健康維持をサポートします。



11 駅の改札で



駅改札におけるICカード利用など

出改札業務をはじめ、駅の財務会計業務、他社路線との精算業務、ICカードを利用した業務に関するソリューションを提供しています。



マネジメント編



キーウェアグループは、
経営の健全性・透明性を保ちながら、
継続的に企業価値を向上させていくために、
経営体制の強化に取り組んでいます。

コーポレート・ガバナンス

✧ 基本的な考え方

キーウェアグループは、持続的に成長し、長期的に企業価値を向上させ、社会やステークホルダーの皆様から信頼され成長を期待される企業となるためには、コーポレート・ガバナンスが極めて重要であることを認識しており、経営の透明性・健全性の確保、意思決定の迅速化、経営監督機能の充実化、ステークホルダーとの適切な協働により、コーポレート・ガバナンスの充実を図っていきます。

✧ 経営監督機能と業務執行機能

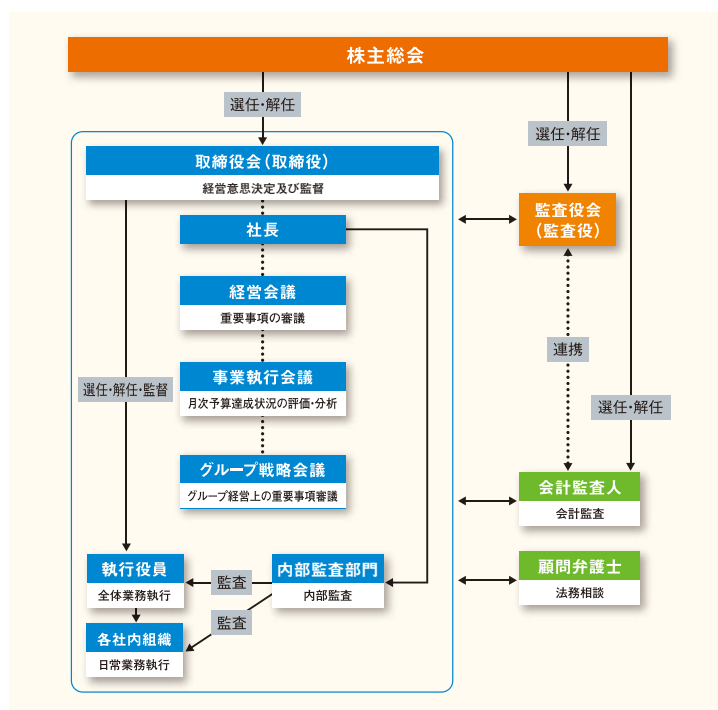
キーウェアソリューションズ(株)におけるコーポレート・ガバナンスの基本は、取締役の「経営監督機能」と執行役員の「業務執行機能」において責任と権限を明確化することです。

取締役会の透明性を担保するために、社外取締役を選任しています。取締役7名のうち2名は社外取締役で、社外取締役のうち1名は独立社外取締役です。取締役の任期は、毎年度の経営責任を明確にするために1年としています。

業務執行機能を担う執行役員は、代表取締役により任命され、取締役会が決定した基本方針に従って業務執行にあたっています。執行役員は7名で、その任期は1年です。なお、取締役3名が執行役員を兼任していますが、当該兼任者の執行役員としての経験や知識は、取締役としての経営監督機能を高めるものと考えています。

✧ 監査体制

監査役及び監査役会による経営監視体制を構築しています。監査役3名のうち2名は社外監査役です。監査役の任期は、監査の独立性を確保してその地位を堅固なものにする必要があることから、4年としています。



コーポレート・ガバナンス体制(概略)

コンプライアンス

✧ 基本的な考え方・推進体制

キーウェアグループでは、法令及び定款の遵守に限らず、社会規範や倫理、道徳など基本的な行動規範の遵守を徹底し、公正正大な事業活動を推進しています。

また、役職員が、健全な社会規範のもとにその職務を遂行するため、経営管理部においてコンプライアンスへの取り組みを横断的に統括することとし、同部を中心に教育等を実施しています。

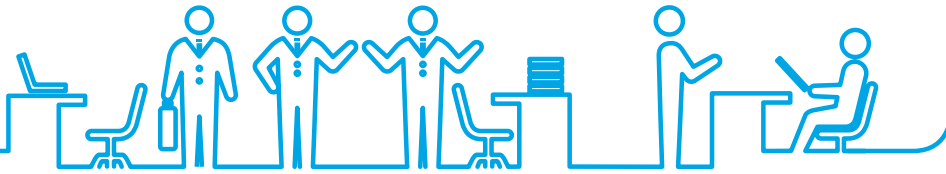


内部通報制度

キーウェアグループでは、法令、社内規定違反などコンプライアンスに反した行為を予防するとともに、早期に発見し、解決するため、「ヘルプライン窓口」を設置しています。通報はプライバシーに配慮した調査のもと、対処・処置については通報者にフィードバックする仕組みとなっています。

コンプライアンスの啓発・教育の実施

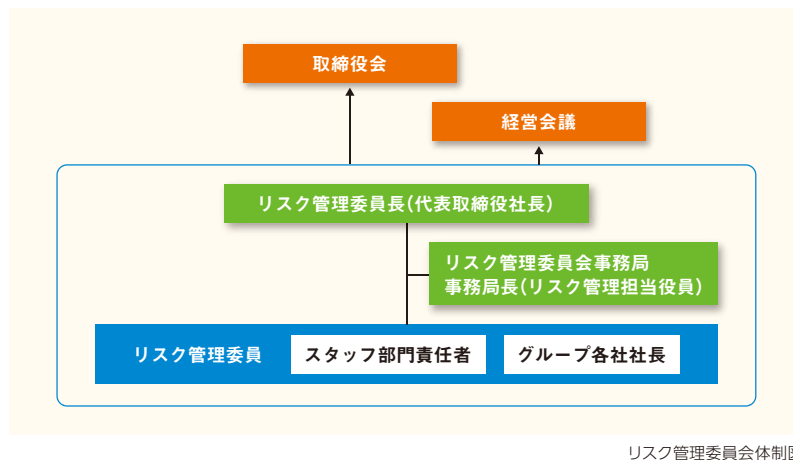
キーウェアグループでは、社員のコンプライアンスへの意識向上を図るため、コンプライアンスに関する情報を全社員向けに発信するほか、情報セキュリティ及び社員の倫理的行動を促すことを目的とした教育を全社員向けに実施しています。



リスクマネジメント

✧ 基本的な考え方・推進体制

キーウェアグループでは、自然災害、事故、伝染病及び会社の事業運営に重大な影響を及ぼすリスクの未然防止、発生したリスクへの速やかな対応を行うことにより事業運営を継続することを目的とし、リスクマネジメントを推進しています。推進体制として、「リスク管理規程」に基づいてリスク管理委員会を設置し、各リスクごとに事業継続のための対処方法等を各種規程等に定め、それらに基づいたリスクマネジメントを実行しています。



大規模災害への対策

地震、台風、伝染病、テロ及び社会インフラ、ライフラインの寸断などによる大規模災害が発生し、キーウェアグループが被害にあった場合、またあう恐れのある場合、社員の安全確認や事業早期再開に向けた基本方策として「災害対策規程」を整備し、行動マニュアルや備品(3日分の水、食料、ブランケット、簡易トイレ等)の整備、防災訓練などを実施しています。

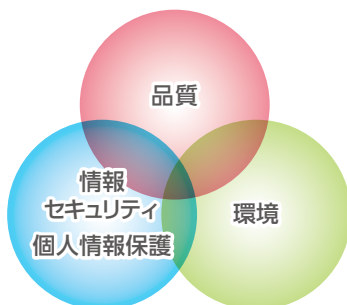


防災訓練の様子(本社)

統合マネジメントシステム (品質・情報セキュリティ・個人情報保護・環境)

✧ 基本的な考え方

キーウェアグループでは、品質マネジメントシステム(QMS)、環境マネジメントシステム(EMS)、情報セキュリティマネジメントシステム(ISMS)、及び個人情報保護マネジメントシステム(PMS)を統合したマネジメントシステム「iSMASH」を運用しています。



※iSMASH:
Integrated Synthetic Management
System of Quality Assurance
for a Software House



品質

キーウェアグループでは、品質マネジメントシステムの国際規格ISO9001認証を取得し、品質の向上に取り組んでいます。また、品質マネジメントシステム(QMS)の運用だけにとどまらず、現場レベルのPDCAサイクルの好事例を横展開し、全社で品質マネジメントシステム(QMS)をブラッシュアップする活動を進めています。

情報セキュリティ

キーウェアグループでは、ISMS認証を取得し、機密情報管理を徹底しています。また、日常的に守るべきルールを「情報セキュリティ遵守事項」としてまとめ、全社員及び当社業務に関わるパートナー社員に配付しています。「情報セキュリティ遵守事項」は、社内外の状況変化に対応するため、毎年見直しています。これに加え、全社・部門・プロジェクト等の各階層において、情報セキュリティ教育を継続的に実施し、情報セキュリティ意識の向上を図っています。



個人情報保護

キーウェアグループでは、個人情報の取り扱いに際して十分に配慮し、個人情報保護に努めています。また、キーウェアサービス(株)及びキーウェア九州(株)を除く各社において、プライバシーマーク認証を取得しています。

環境編



キーウェアグループでは、
環境問題への取り組みを企業の社会的責任と認識し、
豊かな社会と環境の実現のため、
生物多様性の保全及び温室効果ガス削減に
積極的に取り組んでいます。

環境目標

： 中長期目標



温室効果ガス排出量

2020年度に2009年度比 **25%** 減少

： 単年度目標

2016年度目標

2016年度実績

2017年度目標



電力使用量

2015年度実績と同等以下

2015年度比 **2.2%** 減少

2016年度実績と同等以下



紙使用量

2015年度実績と同等以下

2015年度比 **15.4%** 減少

2016年度実績と同等以下



廃棄物量

2015年度実績と同等以下

2015年度比 **3.6%** 減少

2016年度実績と同等以下



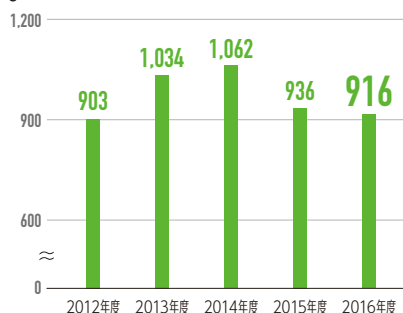
グリーン調達率

2015年度実績と同等以上

2015年度比 **31.7** ポイント 増加

2016年度実績と同等以上

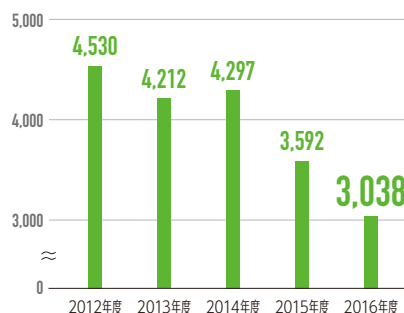
環境パフォーマンス

CO₂排出量2009年度比
25.9% 減前年度比
2.1% 減(kg-CO₂)

紙使用量

前年度比
15.4% 減

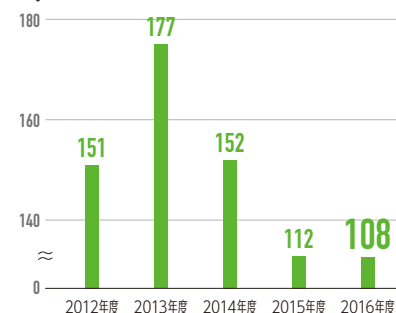
(千枚)



廃棄物量

前年度比
3.6% 減

(百kg)



特筆すべき活動

： 環境関連の法規制遵守

環境法規制、地方自治体の条例やお客様からの要求事項を特定し、定期的に遵守状況を確認しています。

その結果を経営者へ報告することで、遵法性評価のPDCAを確実に展開しています。

： 環境教育

キーウェアグループの環境活動に関わる全ての関係者に教育を実施しています。

- 全社員及び当社業務に関わるパートナー社員に対しWBT(Web Based Training)による環境教育を実施。
- その他協力会社(廃棄物処理業者・清掃業者等)に対し、周知文書・依頼文書を通じた教育を実施。
- 中途採用者及びプロジェクトへの新規参画協力会社社員に対する教育を随時実施。

： 保護(まもる)くんを活用したリサイクル活動

	2014年度	2015年度	2016年度
年間排出量	12,570kg	11,220kg	10,700kg
森林伐採抑制量	186本	167本	159本
CO ₂ 排出抑制量	5,367kg	4,825kg	4,583kg

保護(まもる)くんとは

(株)日本パープルが提供している、重要書類の保管・機密抹消処理・リサイクルシステムです。本サービスを活用することで、紙類・PC関連媒体のリサイクルに貢献し、地球環境の保護にも貢献しています。

： 「ニチバン巻心ECOプロジェクト」への参加

キーウェアグループは、「ニチバン巻心ECOプロジェクト」に参加しています。「ニチバン巻心ECOプロジェクト」とは、使い終わったガムテープやセロハンテープの巻芯を回収し、段ボールにリサイクルし、回収利益をマングローブの植樹に役立てる活動です。

資源の有効活用だけでなく、マングローブの植樹により、豊かな生態系の再生、地球温暖化の防止、周辺地域を台風や高潮被害等から守るなど、環境保護にも貢献しています。



： ECO事業所宣言

キーウェアグループでは、各自治体が実施しているエコ事業所に登録しています。

- キーウェアソリューションズ(株)本社
せたがやエコライフ推進事業所宣言ECO2レベル
- キーウェアサービス(株)
せたがやエコライフ推進事業所宣言ECO2レベル
- キーウェア西日本(株)本社
関西エコオフィス宣言登録事業所
- キーウェア西日本(株)中部ITセンタ
名古屋市認定エコ事業所
- キーウェア北海道(株)
さっぽろエコメンバー レベル3
- キーウェア九州(株)
福岡県エコ事業所
- (株)フレヴァシステムズ
みなとエコ宣言

： 木植えあプロジェクト(東北支店)

2017年5月に開催された「第5回 千年希望の丘植樹祭2017」に、東北支店から6名が参加しました。

千年希望の丘植樹祭とは、東日本大震災で被災した岩沼市沿岸部に市が造成中の「千年希望の丘(南北約10キロに高さ約10メートルの丘を15基並べ、幅約3メートルの遊歩道でつなぐ構想)」で、津波の威力を減衰させる緑の防波堤を築くための苗木を植えるイベントです。

今回の植樹祭は、全国から約4,000人のボランティアが参加し、800メートル区間の約1ヘクタールに、ヤマザクラやヤブツバキなど21種類の約3万本の苗木を植えました。

2013年からの植樹祭には今回を含め、延べ約3万3500人が参加し、計約7.8ヘクタールに計約28万本を植えています。

今後も東北支店の役割のひとつとして、被災地の復興に役に立つ活動を行っていきます。



社会編



キーウェアグループは、経営理念として掲げている「社会的役割」の考え方にに基づき、企業活動を通じて豊かな社会の発展に貢献するとともに、さまざまなステークホルダーの皆様との関係を重視し、共に成長・発展していくための取り組みを行っています。

お客様とともに

※ お客様満足度 (CS) 向上

キーウェアグループでは、より高品質のソリューションサービスを提供し、お客様にご満足いただくため、日頃より改善活動に努めています。

※ お客様満足度 (CS) アンケート実施

キーウェアグループでは、お客様に対して満足度調査のアンケートを実施し、自身の業務の改善やお客様によりご満足いただくために結果を活用しています。

頂いたご意見／ご指摘につきましては、直ちに社内でも共有し、改善に取り組んでいます。

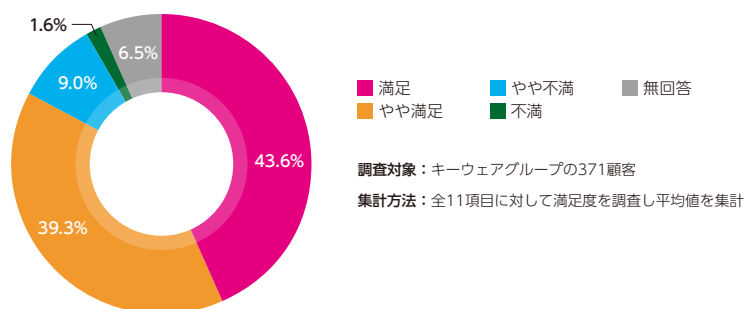
これまで年1回の実施としていましたが、よりタイムリーな対応ができるように2016年度からプロジェクト完了の都度、アンケートをお願いするよう運用を変更いたしました。

※ CS改善活動実施

よりお客様にご満足いただくため、各部門にてアンケート結果の分析を行い、CS改善活動計画を策定し、改善活動を実施しています。

各部門での活動状況は、経営層を含め月次で確認し、改善活動を推進しています。

2016年度お客様満足度 (CS) アンケート結果



株主・投資家の皆様とともに

※ 基本的な考え方

キーウェアソリューションズ(株)は、市場から適正な評価を得るために、企業としての説明責任を果たすことを経営の最重要課題の一つとして位置づけています。

株主・投資家をはじめとしたステークホルダーの皆様へ、充実した情報開示を行うことにより、キーウェアグループに対する理解を深めていただくとともに、皆様の声を社内へフィードバックし、経営・IR活動へ活かしていくことで企業価値向上に努めていきます。

※ 情報開示の基本方針

株主・投資家の皆様に適時、正確かつ公平な情報を提供するため、会社法、金融商品取引法、各種法令等を遵守し、東京証券取引所の「有価証券上場規程」で定める情報及びそれらに準拠した情報ならびにその他の重要な情報を迅速に公開するほか、キーウェアグループを理解していただくために有効な情報についても、積極的な開示に努めることを基本方針としています。

※ 株主・投資家の皆様とのコミュニケーション

株主・投資家の皆様向けのIRツールとして、株主通信「KEYWARE TIMES」や、アニュアルレポートなどを発行しています。また、多くの方に迅速かつ公平にIR情報をお伝えするため、IRサイトにおいて、決算情報、財務データをはじめ、キーウェアグループの強みや特長などを日本語と英語で掲載しています。また、アナリスト・機関投資家向け決算説明会を開催し、その様子を動画で配信しています。



株主通信「KEYWARE TIMES」



機関投資家向け決算説明会

● 所有者別株式分布状況 (2017年3月31日現在)



地域社会とともに

PICK UP 甲州街道で落ち葉清掃を行いました

2016年秋、11月中旬から5週間にわたり、「八幡山全員清掃大作戦」と銘打ち、キーウェアソリューションズ(株)の役員を含むのべ163名で12回の甲州街道の落ち葉掃除を行いました。

1964年の東京オリンピックのときにマラソンコースとして活用された記念として、八幡山近辺の甲州街道にけやき並木が作られました。近所の方々や「甲州街道けやき会」の方等がボランティアで毎年落ち葉掃除を行っていましたが、当社も甲州街道を通勤経路としていますので、少しでもお役に立てればということで、甲州街道の落ち葉掃除を行うこととしました。清掃活動を行ったというだけでなく、地域の方との交流、社員同士のコミュニケーションや、心身のリフレッシュ等の効果も得られました。今後も落ち葉の季節には継続して実施していきたいと考えています。



PICK UP 宮城県亘理町

「ギネス世界記録® 町おこしニッポン」チャレンジ達成!

宮城県亘理町(わたりちょう)は、東北一のいちご生産地でしたが、東日本大震災の津波で、いちご農地の90%以上が浸水。農地はがれきに埋もれ、苗やハウスも全滅し、また海水は土壌や地下水にまで染み込んだため、深刻な塩害が発生しました。現在は農家の皆様の頑張りによって、生産量が震災前の8割まで回復しています。亘理町が復興支援に対し全国に感謝の意を表すため、「ギネス世界記録® 町おこしニッポン」の記録にチャレンジすることとなり、当社が支援業務を受託いたしました。「1,000人でいちごを同時に摘み取る」記録に挑戦し、1,141名が同時にいちごを摘んだということが認められ、ギネス世界記録®を達成しました。

ギネスチャレンジ会場のいちごハウスには、当社のICTソリューション「OGAL(オーガル)」が導入されています。当社は今後も、品質や収量の向上、新栽培方式の研究及び早期の地域展開について亘理町を支援していきます。



※ 地域清掃活動

キーウェアグループでは、地域社会の環境美化や住みよい街づくりに貢献することを目的に、会社近辺を役員・社員がボランティアで清掃活動を行っています。



(株)クレヴァシステムズ



キーウェア九州(株)

※ インターンシップの実施

学生の皆様の職業観・職業意識の形成・向上を目的として、インターンシップを実施しています。システムエンジニアの仕事を理解していただくために、仮想プロジェクトチームを組み、当社が開発した企業向けソリューションを用いてお客様企業の問題解決を図る企業向けサービスや、暮らしの中にある身近な課題をもとに、新たなサービスを創出するサービス企画開発のプロセスなどを体験していただきました。

※ 高校生へのキャリア体験学習支援

NPO法人学校サポートセンターを通じて、修学旅行で東京を訪れた高校生へのキャリア体験学習支援を行っています。

※ 福島ひまわり里親プロジェクト

キーウェアグループでは、福島ひまわり里親プロジェクトに参加しています。福島ひまわり里親プロジェクトとは、2011年5月に福島と全国との絆づくり、教育対策、雇用対策、観光対策等々のさまざまな思いを込めてスタートしたプロジェクトです。里親は種を購入し、栽培し、種を採取して送り返します。その種を福島県内で栽培し、採取した種から油を搾り福島県内で使用します。これらの過程で雇用が生まれ、参加者との絆が生まれ、教育効果もあるというものです。キーウェアグループでは、2014年から参加し、今年も多くの役員・社員が里親としてひまわりを育てています。



社員とともに

PICK UP キーウェア・ファミリーデーを開催しました

「働きやすい・家族を大切にする職場の雰囲気づくり」を行い、改めてワーク・ライフ・マネジメントについて考えるきっかけにしてもらおうという主旨で、2016年12月26日に「キーウェア・ファミリーデー」を開催しました。社員の家族を招待し、日々社員を支えてくれるご家族の職場に対する理解を深めてもらうとともに、社員のご家族と実際に会うことで、職場のコミュニケーションを促進し、どの社員にも大切なお家族があるということを社内全体で再認識できました。参加者は5家族（2～12歳の子ども8名と配偶者2名+社員）で、名刺交換、指ハイブリット認証・顔認証・電子錠CLIQの体験等を行い、最後は社長から修了証の授与、記念撮影を行いました。参加してくれた子どもたちからは「またいきたい!」と好評をいただきました。

今後も会社行事のひとつとして継続的に実施していきたいと考えています。



PICK UP 企業対抗駅伝に参加しました

スポーツの力で企業を元気にする（社内の活性化、企業同士の交流促進による経済の活性化）を目的として、企業単位で参加する「企業対抗駅伝」は2010年に始まりました。7年目を迎えた2016年には 東京・大阪・愛知の三大会合計で1414チーム、16,000人以上が来場した日本最大の企業駅伝大会です。

キーウェアグループは2015年から参加し、今年は東京地区の3社が2017年5月20日に開催された東京大会に参加しました。企業対抗駅伝には、5kmを5名で走る駅伝と、2kmを3名で走るファン駅伝があり、駅伝に4チーム、ファン駅伝に9チームがエントリーし、新入社員から社長まで46名が走りました。大会後の懇親会には応援にきてくれたメンバも含め50名近くが参加しました。走って健康になるだけでなく、所属や会社を超えたコミュニケーションが図れ、参加者は大満足でした。

年々参加者は増加していますので、参加者100名を目指し、これからも参加していきたいと考えています。



： 人材育成への取り組み

キーウェアグループでは、社員と会社が互いに成長できる会社を目指しています。社員の技術スキルレベルの向上を図り、より専門性を高めることを経営戦略の重要テーマとして、社員一人ひとりの適性・志向に合った研修プログラムを実施しています。すべての社員を対象として、「階層別研修」「目的別研修」「専門スキル研修」などの研修プログラムを実施しているほか、社員のスキルの向上及び自己啓発支援の一環として資格取得を推進し、会社が必要

と認めた公的資格・認定資格を取得した者に対しては資格取得奨励金を支給して、社員のキャリアアップを支援しています。

またIT業界においてはプロジェクトマネージャの存在意義が一層増すことが想定されていることから、プロジェクトマネジメントに関する国際資格であるプロジェクトマネジメントプロフェッショナル(PMP®)資格取得支援を行っており、これまでに約150名の社員がPMP®資格を取得しています。

女性社員の活躍を推進するための取り組み

女性社員が活躍できる環境をつくるため、5ヵ年計画を策定し、実行しています。

- 産休、育休中の情報提供や個別説明の実施
- 全社員に対する働き方に関する意識改革を促す取り組みの実施(階層別研修など)
- 昇格候補者に対する意識付け(人事部や上司から)
- 職務に応じた適正な昇格資格の検討
- キャリア形成に対する意識を醸成するための女性社員の交流会、研修の実施(自社・他社のロールモデルの紹介、外部の女性社員との交流会など)

部長級・課長級・係長級の女性社員の人数

部長級 (管理職)	課長級 (管理職)	係長級 (一般職)
1名	5名	14名

2017年4月現在 キーウェアソリューションズ(株)

多様な人材の活躍を支援するための取り組み

キーウェアグループは、社員一人ひとりの個性や異なる発想・価値観を受け入れ、多様な人材が能力を十分に発揮し成長できる企業を目指しています。多様な人材の活躍支援に向けて国籍や性別の区別なく採用活動を行っており、障がい者の雇用についても実績を重ねています。

外国籍社員の人数と障がい者雇用率

外国籍社員	障がい者雇用率
11名	2.03%

2017年3月末現在 キーウェアソリューションズ(株)

健康管理とメンタルヘルスケア

社員が健康で安心して働ける環境づくりをテーマに、2007年にEAPサービス(外部カウンセラー相談窓口)を導入、2009年から保健師による健康相談(長時間労働者、健康診断有所見者)を実施、2016年からキーウェアグループ役員・正社員・契約社員を対象にストレスチェック制度を実施して、社員ならびに家族の心身の健康をサポートする制度の充実を図っています。

また、受動喫煙抑止と健康増進の観点から八幡山本社の喫煙場所の縮小を行い、八幡山本社ビルの閉館時間を23:00から21:30に変更するなど職場環境の改善に取り組み、働きやすい職場づくりを目指しています。

労働安全衛生

労働災害発生件数

	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
業務災害	0件	1件	1件	1件
通勤災害	4件	4件	4件	0件

キーウェアソリューションズ(株)

ワーク・ライフ・バランス

社員がその能力を発揮し、仕事と生活の調和を図り、働きやすい雇用環境を整備できるよう、3ヵ年計画を策定し実行しています。

- 社員の負荷軽減と休暇取得促進を図り、年次有給休暇の年間取得日数を前年度以上、月間平均残業時間を前年度以下にして「健康経営」「ワーク・ライフ・バランス」を実現します。

有給休暇の取得実績

	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
平均取得日数	11.0日	10.2日	11.1日	11.9日
平均取得率	55.0%	51.0%	55.5%	59.5%

キーウェアソリューションズ(株)

月間平均残業時間

	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
キーウェアソリューションズ(株)	約31時間	約29時間	約23時間	約21時間
キーウェアグループ	約29時間	約28時間	約23時間	約22時間

- 仕事と子育て・介護等の両立を支援・推進する諸制度(育児・介護休業制度、育児・介護時短制度、子の看護休暇、介護休暇、フレックスタイム制度、外部カウンセラー相談窓口など)の周知や情報提供を行います。子育てや介護等のための休暇や職務について、柔軟な対応が可能となるように制度の見直しを図ります。

育児休業取得者・子の看護休暇利用者数

	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
育児休業取得者	8名(0名)	15名(1名)	16名(1名)	16名(0名)
子の看護休暇利用者	10名(4名)	8名(3名)	10名(1名)	14名(2名)

キーウェアグループ ()内は男性社員

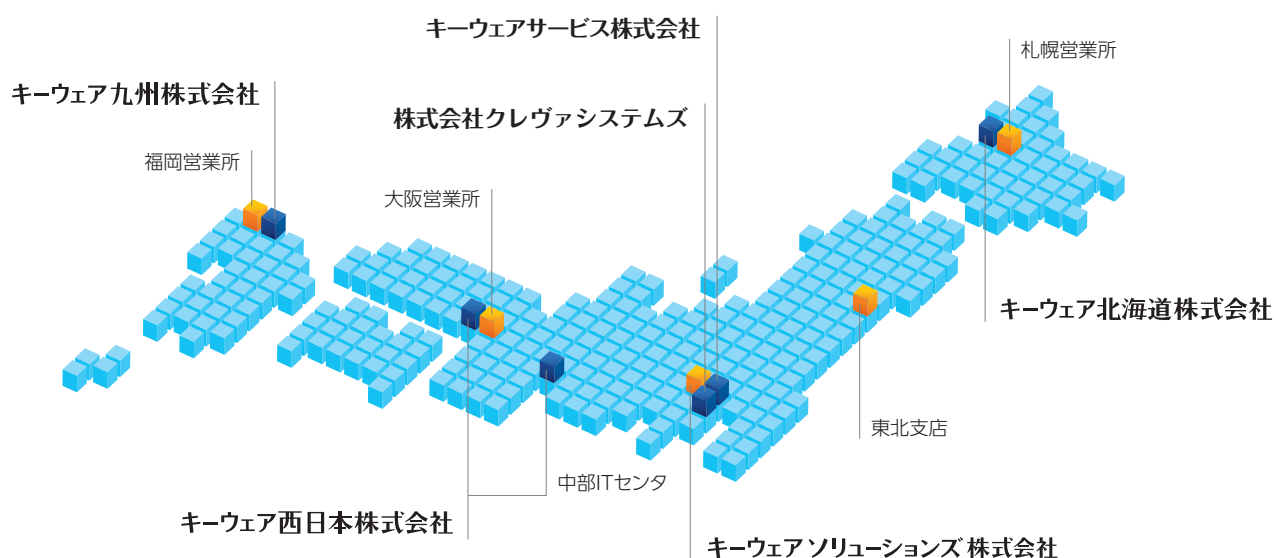
介護休業取得者・介護休暇利用者数

	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
介護休業取得者	0名(0名)	0名(0名)	2名(1名)	0名(0名)
介護休暇利用者	3名(3名)	4名(4名)	7名(7名)	6名(6名)

キーウェアグループ ()内は男性社員

会社概要

会社名	キーウェアソリューションズ株式会社	キーウェアグループ	キーウェアサービス株式会社
創立	1965年5月		キーウェア北海道株式会社
資本金	17億37百万円		キーウェア西日本株式会社
売上高	153億73百万円 (2017年3月期・連結)		キーウェア九州株式会社
従業員数	1,078名 (2017年3月31日現在・連結)		株式会社クレヴァシステムズ
上場証券取引所	東京証券取引所市場第二部 (証券コード: 3799)		



編集方針

「キーウェアグループ CSR報告書2017」をお読みいただき、誠にありがとうございます。キーウェアグループのCSR活動の内容と結果について、ステークホルダーの皆様へ、適切にわかりやすくご報告することを目的として「CSR報告書」という形でご報告しています。

キーウェアグループは、今後も企業活動を通じて豊かな社会の発展に貢献するだけでなく、広く社会とともに継続性のある未来を築いていくため、積極的にCSR活動を行ってまいります。本報告書をお読みいただき、ぜひ忌憚のないご意見やご感想をお寄せいただければ幸いです。今後のCSR活動の参考とさせていただきます。

ホームページ

キーウェアグループの社会・環境活動 (CSR) につきましては、ホームページでもご覧いただけます。

<http://www.keyware.co.jp/csr/index.html>



報告対象組織

キーウェアグループ全体を対象としています。

報告対象期間

2016年度 (2016年4月1日～2017年3月31日)
※一部に2017年度以降の活動も含んでいます。

発行年月

2017年8月

表紙デザインについて

表紙のデザインには、いつまでも続く豊かな人々の暮らし・社会・環境の実現に向けたキーウェアグループのICTを通じた事業への取り組みを表現しています。

KEYWARE
SOLUTIONS

キーウェアソリューションズ株式会社

〒156-8588 東京都世田谷区上北沢5-37-18

経営管理部 CSR推進室

TEL 03-3290-1111 FAX 03-3290-6741

<http://www.keyware.co.jp/>



※掲載されている会社名と製品名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。

本誌は、植物性インキを使用しています。
本誌は、見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。